

注意： 本文書は情報提供のみを目的としています。本文書は、発行時点におけるAWSの製品と対応を説明するものであり、予告なく変更される場合があります。お客様は、本文書の情報およびAWS製品またはサービスの利用について、ご自身の評価に基づき判断する責任を負います。いずれのAWS製品またはサービスも、明示または黙示を問わずいかなる保証も伴うことなく、「現状のまま」提供されます。本文書のいかなる内容も、AWSとその関係会社、サプライヤー、またはライセンサーからの保証、表明、および契約上の責任、条件や確約を意味するものではありません。お客様に対するAWSの責任はAWS契約によって規定されています。また、本文書は、AWSとお客様との間のいかなる契約の一部も構成するものではなく、また、当該契約が本文書によって変更されることもありません。

「対応の主体」凡例 ○：主体として対応する  
 -：必要に応じて情報を提供する

基準番号	対応の主体		AWSの対応状況	お客様が統制すべき内容
	AWS	お客様		
設1	○	-	<p>AWSのデータセンターは、革新的なデザインと工学的なアプローチを活用し、環境的なリスクに対して、物理的な保護を行なっています。</p> <p>さらに、ISO 27001の附属書 A. 9.1もしくはSOC1タイプ2レポートで詳細を提供しています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO 27001認証への準拠が確認されています。</p> <p>AWSのデータセンターに関する情報はこちらをご参照下さい。  <a href="https://aws.amazon.com/jp/compliance/data-center/">https://aws.amazon.com/jp/compliance/data-center/</a></p> <p>AWSリージョンやデータセンターの設計を踏まえ、日本における地震災害において、どのようにAWSが高い耐障害性を確保しているか、また、マルチリージョンの活用により、お客様がどのように高いレジリエンスを確保できるかを解説したホワイトペーパーを、AWS Artifactにおいて公開しています。</p> <p><a href="https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/resiliency-in-japan/">https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/resiliency-in-japan/</a></p>	
設2	○	-	<p>AWSのデータセンターは、外部からはそれとはわからないようになっています。物理的なセキュリティ対策としては、フェンス、壁、セキュリティスタッフ、監視カメラ、侵入検知システムやその他エレクトロニクスを用いた厳重な管理を行っています。</p> <p>AWS SOC1タイプ2レポートに、AWS特有の取り組みに関するさらなる詳細情報が記載されています。追加の情報についてはISO27001附属書A.9.1をご参照ください。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001認証への準拠が確認されています。</p>	
設3	○	-		
設4	○	-		
設5	○	-		
設6	○	-		
設7	○	-		
設8	○	-		
設9	○	-		
設10	○	-		
設11	○	-	<p>詳細についてはISO27001 附属書 A. 9.1、AWS SOC1 タイプ2レポートを参照してください。</p> <p>物理的なセキュリティ対策としては、フェンス、壁、セキュリティスタッフ、監視カメラ、侵入検知システムやその他エレクトロニクスを含む手段を用いて厳重な管理を行っています。</p>	
設12	○	-		
設13	○	-		
設14	○	-	<p>AWS SOC1 タイプ2レポートに、AWSにおける取り組みに関するさらなる詳細情報が記載されています。追加の情報についてはISO27001附属書 A.9.1を参照してください。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001認証に準拠することが確認されています。</p>	
設15	○	-		
設16	○	-		
設17	○	-		
設18	○	-		
設19	○	-	<p>AWSのデータセンターは環境的なリスクに対する物理的な保護を備えています。AWSの環境的なリスクに対する物理的な保護は、独立した監査人によって検証され、ISO27002のベストプラクティスに準拠することが承認されています。</p> <p>詳細についてはISO27001 附属書 A. 9.1、AWS SOC1 タイプ2レポートを参照してください。</p>	
設20	○	-		
設21	○	-	<p>AWSのデータセンターは、外部からはそれとはわからないようになっています。AWSのデータセンターは環境的なリスクに対する物理的な保護を備えています。</p> <p>また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO 27001認証に準拠することが確認されています。</p>	
設22	○	-		
設23	○	-		
設24	○	-		
設25	○	-		
設26	○	-		

注意： 本文書は情報提供のみを目的としています。本文書は、発行時点におけるAWSの製品と対応を説明するものであり、予告なく変更される場合があります。お客様は、本文書の情報およびAWS製品またはサービスの利用について、ご自身の評価に基づき判断する責任を負います。いずれのAWS製品またはサービスも、明示または黙示を問わずいかなる保証も伴うことなく、「現状のまま」提供されます。本文書のいかなる内容も、AWSとその関係会社、サプライヤー、またはライセンサーからの保証、表明、および契約上の責任、条件や確約を意味するものではありません。お客様に対するAWSの責任はAWS契約によって規定されています。また、本文書は、AWSとお客様との間のいかなる契約の一部も構成するものではなく、また、当該契約が本文書によって変更されることもありません。

「対応の主体」凡例 ○：主体として対応する  
 -：必要に応じて情報を提供する

基準番号	対応の主体		AWSの対応状況	お客様が統制すべき内容
	AWS	お客様		
設27	○	-	AWSのデータセンターは、外部からはそれとはわからないようになっています。物理的なセキュリティ対策としては、フェンス、壁、セキュリティスタッフ、監視カメラ、侵入検知システムやその他エレクトロニクスを用いた厳重な管理を行っています（但し、手段はこの限りではない）。	
設28	○	-		
設29	○	-		
設30	○	-	AWS SOC1 タイプ2レポートに、AWS特有の取り組みに関するさらなる詳細情報が記載されています。追加の情報についてはISO27001附属書A.9.1をご参照ください。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001認証への準拠が確認されています。	
設31	○	-	AWSのデータセンターは環境的なリスクに対する物理的な保護を備えています。また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001認証に準拠することが確認されています。	
設32	○	-		
設33	○	-		
設34	○	-		
設35	○	-		
設36	○	-		
設37	○	-	AWSのデータセンターは環境及びセキュリティに関するリスクに対する物理的な保護を備えています。これには、火気の検知と抑制、空気のコンディションを最適なレベルに調整する空調、物理的なセキュリティ制御などが含まれます。また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001認証に準拠することが確認されています。	
設38	○	-		
設39	○	-		
設40	○	-		
設41	○	-		
設42	○	-		
設43	○	-		
設44	○	-		
設45	○	-		
設46	○	-		
設47	○	-	AWSのデータセンターは地震を含む局所的な環境リスクに対する警報と物理的な保護を備えています。	
設48	○	-		
設49	○	-		
設50	○	-		
設51	○	-	AWSのデータセンターは環境リスクに対する物理的な保護を備えています。これには、火気の検知と抑制、空気のコンディションを最適なレベルに調整する空調、完全に冗長化された電源システムなどが含まれます。物理的なセキュリティ対策としては、フェンス、壁、セキュリティスタッフ、監視カメラ、侵入検知システムやその他エレクトロニクスを使った手段を含む制限を行っています。また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001認証に準拠することが確認されています。	
設52	○	-		
設53	○	-		
設54	○	-		
設55	○	-		
設56	○	-		
設57	○	-		
設58	○	-		
設59	○	-		
設60	○	-	データセンターの電力システムは、完全に冗長性をもち、1日24時間・週7日、運用に影響を与えることなくメンテナンス可能な設計がなされています。施設内の重要かつ不可欠な箇所における電力障害に際しては、無停電電源装置（UPS）がバックアップ電力を供給します。データセンターは、施設全体へのバックアップ電力を供給する発電機を備えています。また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001規格に準拠することが確認されています。	
設61	○	-		
設62	○	-		
設63	○	-		
設64	○	-		
設65	○	-		
設66	○	-		

注意: 本文書は情報提供のみを目的としています。本文書は、発行時点におけるAWSの製品と対応を説明するものであり、予告なく変更される場合があります。お客様は、本文書の情報およびAWS製品またはサービスの利用について、ご自身の評価に基づき判断する責任を負います。いずれのAWS製品またはサービスも、明示または黙示を問わずいかなる保証も伴うことなく、「現状のまま」提供されます。本文書のいかなる内容も、AWSとその関係会社、サプライヤー、またはライセンサーからの保証、表明、および契約上の責任、条件や確約を意味するものではありません。お客様に対するAWSの責任はAWS契約によって規定されています。また、本文書は、AWSとお客様との間のいかなる契約の一部も構成するものではなく、また、当該契約が本文書によって変更されることもありません。

「対応の主体」凡例 ○ : 主体として対応する  
 - : 必要に応じて情報を提供する

基準番号	対応の主体		AWSの対応状況	お客様が統制すべき内容
	AWS	お客様		
設67	○	-		
設68	○	-		
設69	○	-		
設70	○	-		
設71	○	-		
設72	○	-	AWSのデータセンターは環境的なリスクに対する物理的な保護を備えるよう開発されています。	
設73	○	-	サーバの過熱を予防し、サービスの中断の可能性を下げるためにサーバやその他のハードウェアを一定の温度に保つには、空調が必要です。データセンターは空気のコンディションを最適なレベルに保つよう、調整されています。作業員とシステムが、温度と湿度を適切なレベルになるよう監視及び制御を実施しています。	
設74	○	-		
設75	○	-		
設76	○	-	追加の情報についてはISO27001 附属書 A. 9.1をご参照ください。	
設77	○	-	AWSは独立した監査人によって検証され、ISO 27001規格に準拠することが確認されています。	
設78	○	-		
設79	○	-		
設80	○	-	AWSは、電氣的、機械的、物理的セキュリティ及び生存監視に関するシステムと設備を監視し、如何なる問題も速やかに特定されるようにしています。	
設81	○	-		
設82	○	-	物理的なセキュリティ対策としては、フェンス、壁、セキュリティスタッフ、監視カメラ、侵入検知システムやその他エレクトロニクスを含む手段を用いて厳重な管理を行っています。これには、ネットワークケーブルの適切な保護も含まれています。	
設83	○	-	AWS SOC1タイプ2レポートに、AWSにおける取り組みに関するさらなる詳細情報が記載されています。追加の情報についてはISO27001 附属書A.9.1を参照してください。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001規格に準拠することが確認されています。	
設83-1	○	-		
設84		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設85		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設86		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設87		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設88		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設89		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設90		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設91		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設92		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設93		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設95		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設96		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設97		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設98		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設99		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設100		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設101		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設102		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設103		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設104		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。

注意: 本文書は情報提供のみを目的としています。本文書は、発行時点におけるAWSの製品と対応を説明するものであり、予告なく変更される場合があります。お客様は、本文書の情報およびAWS製品またはサービスの利用について、ご自身の評価に基づき判断する責任を負います。いずれのAWS製品またはサービスも、明示または黙示を問わずいかなる保証も伴うことなく、「現状のまま」提供されます。本文書のいかなる内容も、AWSとその関係会社、サプライヤー、またはライセンサーからの保証、表明、および契約上の責任、条件や確約を意味するものではありません。お客様に対するAWSの責任はAWS契約によって規定されています。また、本文書は、AWSとお客様との間のいかなる契約の一部も構成するものではなく、また、当該契約が本文書によって変更されることもありません。

「対応の主体」凡例 ○ : 主体として対応する  
 - : 必要に応じて情報を提供する

基準番号	対応の主体		AWSの対応状況	お客様が統制すべき内容
	AWS	お客様		
設105		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設106		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設107		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設108		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設109		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設110		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設111		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設112		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設113		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設114		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設115		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設116		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設117		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設118		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設119		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設120		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設121		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設122		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設123		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設124		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設125		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設126		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設127		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設128		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設129		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設130		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設131		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設132		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設133		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設134		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設135		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設136		○		お客様の施設（本店・営業店等）での対策項目になります。
設137		○		お客様の施設（流通・小売店舗）での対策項目になります。

変更履歴（設備基準）

■ 2023年7月 第11版令和5年5月版設備基準の反映、一部情報の更新

基準番号	AWSの対応状況(旧)	AWSの対応状況(新)
設1	追加情報については、「AWSのセキュリティプロセスの概要」のホワイトペーパーを参照してください。 <a href="http://aws.amazon.com/security">http://aws.amazon.com/security</a>	AWSのデータセンターに関する情報はこちらをご参照下さい。 <a href="https://aws.amazon.com/jp/compliance/data-center/">https://aws.amazon.com/jp/compliance/data-center/</a>  AWSリージョンやデータセンターの設計を踏まえ、日本における地震災害において、どのようにAWSが高い耐障害性を確保しているか、また、マルチリージョンの活用により、お客様がどのように高いレジリエンスを確保できるかを解説したホワイトペーパーを、AWS Artifactにおいて公開しています。  <a href="https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/resiliency-in-japan/">https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/resiliency-in-japan/</a>
設22 - 26	AWSのデータセンターは、外部からはそれとはわからないようになっていました。AWSのデータセンターは環境的なリスクに対する物理的な保護を備えています。追加情報に関しては下記の「Amazon Web Servicesセキュリティプロセス概要」白書をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/security">http://aws.amazon.com/security</a> また、ISO27001 附属書 A.9.1、AWS SOC1 タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO 27001認証に準拠することが確認されています。	【ハイパーリンク削除】  AWSのデータセンターは、外部からはそれとはわからないようになっていました。AWSのデータセンターは環境的なリスクに対する物理的な保護を備えています。また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO 27001認証に準拠することが確認されています。
設31 - 36	AWSのデータセンターは環境的なリスクに対する物理的な保護を備えています。追加情報に関しては下記の「Amazon Web Servicesセキュリティプロセス概要」白書をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/security">http://aws.amazon.com/security</a> また、ISO27001 附属書 A.9.1、AWS SOC1 タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO 27001認証に準拠することが確認されています。	AWSのデータセンターは環境的なリスクに対する物理的な保護を備えています。また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001認証に準拠することが確認されています。
設37 - 47	AWSのデータセンターは環境及びセキュリティに関するリスクに対する物理的な保護を備えています。これには、火気の検知と抑制、空気のコンドিশョンを最適なレベルに調整する空調、物理的なセキュリティ制御などが含まれます。追加情報に関しては下記の「Amazon Web Servicesセキュリティプロセス概要」白書をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/security">http://aws.amazon.com/security</a> また、ISO27001 附属書 A.9.1、AWS SOC1 タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO 27001認証に準拠することが確認されています。	AWSのデータセンターは環境及びセキュリティに関するリスクに対する物理的な保護を備えています。これには、火気の検知と抑制、空気のコンドিশョンを最適なレベルに調整する空調、物理的なセキュリティ制御などが含まれます。また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001認証に準拠することが確認されています。
設48 - 51	AWSのデータセンターは地震を含む局所的な環境リスクに対する情報と物理的な保護を備えています。追加情報に関しては下記の「Amazon Web Servicesセキュリティプロセス概要」白書をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/security">http://aws.amazon.com/security</a>	AWSのデータセンターは地震を含む局所的な環境リスクに対する情報と物理的な保護を備えています。
設52 - 59	AWSのデータセンターは環境リスクに対する物理的な保護を備えています。これには、火気の検知と抑制、空気のコンドিশョンを最適なレベルに調整する空調、完全に冗長化された電源システムなどが含まれます。物理的なセキュリティ対策としては、フェンス、壁、セキュリティスタップ、監視カメラ、侵入検知システムやその他エレクトロニクスを使った手段を含む制限を行っています。追加情報に関しては「Amazon Web Servicesセキュリティプロセス概要」のホワイトペーパーを参照して下さい。 <a href="http://aws.amazon.com/security">http://aws.amazon.com/security</a> また、ISO27001 附属書 A.9.1、AWS SOC1 タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO 27001認証に準拠することが確認されています。	AWSのデータセンターは環境リスクに対する物理的な保護を備えています。これには、火気の検知と抑制、空気のコンドিশョンを最適なレベルに調整する空調、完全に冗長化された電源システムなどが含まれます。物理的なセキュリティ対策としては、フェンス、壁、セキュリティスタップ、監視カメラ、侵入検知システムやその他エレクトロニクスを使った手段を含む制限を行っています。また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001認証に準拠することが確認されています。
設61 - 71	データセンターの電力システムは、完全に冗長性をもち、1日24時間・週7日、運用に影響を与えることなくメンテナンス可能な設計がなされています。施設内の重要なかつ不可欠な箇所における電力障害に際しては、無停電電源装置（UPS）がバックアップ電力を供給します。データセンターは、施設全体へのバックアップ電力を供給する発電機を備えています。追加情報に関しては「Amazon Web Servicesセキュリティプロセス概要」のホワイトペーパーを参照して下さい。 <a href="http://aws.amazon.com/security">http://aws.amazon.com/security</a> また、ISO27001 附属書 A.9.1、AWS SOC1 タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO 27001規格に準拠することが確認されています。	データセンターの電力システムは、完全に冗長性をもち、1日24時間・週7日、運用に影響を与えることなくメンテナンス可能な設計がなされています。施設内の重要なかつ不可欠な箇所における電力障害に際しては、無停電電源装置（UPS）がバックアップ電力を供給します。データセンターは、施設全体へのバックアップ電力を供給する発電機を備えています。また、ISO27001附属書A.9.1、AWS SOC1タイプ2レポートにさらなる詳細が記載されています。AWSは独立した監査人によって検証され、ISO27001規格に準拠することが確認されています。
設80 - 81	AWSは、電氣的、機械的、物理的セキュリティ及び生存監視に関するシステムと設備を監視し、如何なる問題も速やかに特定されるようにしています。追加情報に関しては下記の「Amazon Web Servicesセキュリティプロセス概要」白書をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/security">http://aws.amazon.com/security</a>	AWSは、電氣的、機械的、物理的セキュリティ及び生存監視に関するシステムと設備を監視し、如何なる問題も速やかに特定されるようにしています。